文教厚生常任委員会が所管する事業の決算審査について

≪ 児童館運営費 ≫

市内唯一の児童館。子育て世帯の保護者の関心は高く、市からの補助もあり、18 歳未満の児童が使いやすい施設になっているのか、との視点での質問。

【質問】笠縫東の児童館の運営費の積算根拠について

〔答弁〕平成２３年以前は、国の子育て支援交付金の補助金制度があったが、廃止となり、その後は市で補助支援している。

県の児童館の設置運営要綱の人員配置に基づき、保育士２名分の人件費と事務費とで、７４２万６０００円を補助している。

【質問】児童館は１８歳未満の児童が利用出来る施設であるが、ホームページの案内や保護者からの声として、低学年以下の利用となっていたり、利用時間も限られていて、自由に使える施設になっていないのではないか。

〔答弁〕ホームページのことや、事業内容について、施設の方と調整しながら、検討させて頂きたい。

【意見】補助金が使われているのであれば、実際の現場をしっかりと見て頂きたい。

≪ 糖尿病重症化予防支援費 ≫

草津市の医療費増加の課題に腎臓の透析治療者の増加がある。透析は、日常生活へ大変な影響があり、その大きな要因にもなっている糖尿病性腎症の予防が大変重要である。
糖尿病の重症化予防事業の状況についての質問

【質問】糖尿病の重症化予防の達成状況について

〔答弁〕健康診査及び保健指導の受診者数の増加率の向上が課題としてある。目標受診率は６０%ではあるが、昨年の３６．４%から３９%となったことは、大きな成果である。
また、４０代、５０代といった受診比率が大変低いが、上昇傾向にある。

【質問】受診や健康指導については、人数も少なく、
かかりつけ医との連携が効果があると思うが、状況はいかがか。

〔答弁〕年度当初に医師会の会長へ糖尿病に関係する文書を配布する機会に合わせて、糖尿病予防の事業に関するお願いも同封している。今年度途中に、個別に回る取組も考えている。